

令和 2 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立大正東中学校協議会

1 総括についての評価

今年度は、新型コロナ感染拡大の影響で、休校措置や教育活動の制限など、学校現場の大変さは十分理解している。その中で運営をしてきたわけであるので、最終評価内容については承認したいと考える。

引き続き、学校運営にしっかりと取り組み、子どもたちに不利益なことがないようにお願い

年度目標：【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標

○令和 2 年度末の「校内調査」において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。

○「校内調査」における『学校のきまり・規則を守っていますか』の項目について『当てはまる（どちらかといえば当てはまる）』と答える生徒の割合を 80%にする。

○令和 2 年度末の「校内調査」において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。

○令和 2 年度末の「校内調査」において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

学校の年度目標

○区役所担当者や消防署と連携して、南海トラフ地震等の大規模災害に備えて、学校施設を避難所として整備するとともに、地域を巻き込んだ防災研修をなお一層充実したものに実践する。

校内での暴力行為が激減したことは、大変喜ばしいことである。来年度以降もこの状態を維持してほしい。

地域から見えていても、学校が落ち着いていることが感じ取れる。

不登校生については、年々数も増え、状況も悪化している。行政ともしっかり連携して、一人でも多く改善できるように取り組んでもらいたい。

年度目標：【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

○令和 2 年度の「中学生チャレンジテスト」における標準化得点を同一母集団で比較し、いずれの学年でも前年度より向上させる。

○令和 2 年度の「中学生チャレンジテスト」における得点が府平均の 7 割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年でも前年度より 1.5 ポイント減少させる。

○令和 2 年度の「中学生チャレンジテスト」における得点が府平均を 2 割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年でも前年度より 1.5 ポイント増加させる。

○令和 2 年度の「校内調査」における『学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか』に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度より増加させる。

○「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、特に課題のある柔軟性と持久力についての平均の記録を前年度より 1.5 ポイント向上させる。

学校の年度目標

○ICT教育の充実を図るため、校内の必要な教室すべてにプロジェクターの設置を完了

させる。

今年度は全国学量調査など各調査が中止になってしまったが、校内調査からは生徒の意識は要状態であることか見られる。これが本当の学力に結びつくように取り組んでほしい。オンラインでの学習など、新しい取り組みにもしっかりと取り組んでいるようだが、時代の流れに遅れないようにより一層の努力をしてほしい。様々な取り組みに制限がかかっているようだが、工夫した計画を立てて人権感覚など子どもたちに必要な心の教育が薄まらないようにしてほしい。

3 今後の学校園の運営についての意見

新型コロナ感染拡大に関わる制限は来年度も予想されるが、教職員が力を合わせて子どもたちのために様々な教育活動を実践してほしい。

そのために、地域はできる限りの協力を惜しまないことを付け加えておく。